

一妹の友達の中ニメスガキの齢乖離せり代償耳ほじりで俺は敗ける。召矢さわり 台本一

キャラクター：『召矢さわり』（めしやさわり） 12歳くらい。

中二病を患っている。自分の苗字が大好きで、メシアと名乗っている痛い子。

友達の間では、中二キャラが定着している。

そしかし、それなりの羞恥心も持ち合わせており、大人（友達の両親等）に対しては、恥しくてキャラを貫けないという一面も。

主人公がいけるクチだとわかると、心を開き、中二病全開のごっこ遊びに興じる。

なお、『齢乖離（よわいかいり）せり代償』というのは、『年の差による犯罪リスク』を中二風に変換したものです。

※耳かきボイスですので、感情の起伏があるシーンであっても極力キンキンさせない落ち着いた演技をお願いします。

※ト書きの距離の指定は **通常距離** < **近距離** < **超近距離囁き声** の順に近くなります。

超近距離囁き声は、マイクに唇が当たるくらい、か、息がかかるくらいに近づいてください。

※距離指定は緑太字で、演技についてのト書きは赤太字です。■部分は、耳ふー、キス音です。

※納品の際は、導入、右耳、左耳等パート毎にトラックを分けて頂けると助かります。

※耳ふーは優しく弱めに、確実にマイクに空気が入るようにしてください。

※中二台詞はやや低めの声で演技ぽくそれ以外の素の部分は割といつも通りのメスガキで

※右耳パートの最後までの中二モードは光属性、左耳パートの中二モードは闇属性です。

笑い方がフハハ、フツツ、フフからクハハ、クックツ、クククに変わります。

（さわりの中で、前半は光属性救世主、後半は闇落ちした神という設定なので）

※キャラクターの都合上、耳かきや耳ふ～の前に技名を叫ぶことがあります、耳に痛くないよう、声を抑えてください。

※ト書きの内容は、一部を除いて演技です。素の反応意外は中二モードを演じているという体なので、一応意識しておいてください。

【あらすじ】

主人公（聴き手）の妹、ももを訪ねてやってきた新たなメスガキ召矢さわり。

『我が名はメシア…盟約により、今ここにももとの邂逅を果たさん…！』

突然の痛々しい挨拶に戸惑う主人公。

現れたのがももではなく主人公だとわかると、さわりは顔を真っ赤にして悶絶する。

例の如くももは外出中という事で、主人公はフォローしつつもさわりを部屋へ案内する事に…

ももの部屋にて、恥ずかしさで緊張しまくりのさわりに、主人公は中二ワードでの会話を試みる。

さわりはそのフォローに感激、すっかり打ち解けた二人は、東の間のごっこ遊びを始める。

会話の中でさわりが持ち出した、ももの家には少女たちを捕食する魔物が潜んでいるという噂話に挙動不審になる主人公。

主人公の正体を見抜いたさわりは、そそくさと部屋を出ようとする。

ひと悶着の末、凶悪な魔物に耳を支配されているというトンデモな言い訳を展開する主人公にしぶしぶ納得したさわりは、耳に潜む魔物を封印するという体で耳かきをすることとなる。

——【導入パート】

①兩耳、通常距離

(玄関が開く。目を閉じてポーズをとっているさわり、気づかずくに痛い挨拶)

…我が名はメシア…盟約により、ももとの邂逅(かいこう)を今果たさんッ！

(ももじやないと気づいて驚愕、主人公を父親と勘違い)

…………ん？ うわあッ！！！！！！！！

お、おじ…さん…！ ！ ！ ！ ～～～～～ツツツツ！ ！ ！

(早口でテンパりまくる。目がぐるぐるになってるイメージ)

相違(そういう)あり相違あり相違ありし～！ ややつ違うんです！ ち、ちちちち違うんです！

これは最近流行ってる遊びで、ももが出てきたと思ったからそれでッ！

その！混沌(こんとん)たるこの状況はああああ～あうあうあうあ～～～！――？？？――？――？

(恥しすぎて悶絶、主人公が兄だと名乗りわかる)

~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ |||

ふう？ あ、お兄さんなんですか？ すみません……

(独り言)

どっちでも同じだけど…うぐう

(ももがいないと聞きショック、癡で中二が飛び出すすぐ正気に)

へえっ！？ もも、いないんですか？

ぐぎぎ～我が契約を反故(ほご)にすることはいい度胸だあ～～～ぐぬぬぬ…はっ！？

(慌てて謝罪するも、寛容な主人公。照れくさうなさわり)

すすみませんつつい癡で…へ？ 金然平氣？ 恥しがらなくていい…？ どうも//

え？ あがって封いいんでですか？ あ、ありがとうございます//

(ももの部屋に入り、落ち着いて、自己紹介、先の挨拶を訂正したがっている)

（この段落は元々、落書きでした。）色々結果、発表授業を前にしたが、…

ふう、お兄さん、ありがとうございます。
お、私ですか…? …召矢…きねり…です…!!!

あ、私ですか？」「吉次 それとも、さあ さっきのは…まさに、忘れてください…//

(召矢? ホントにネシアみたいな名前だわと言わわ テンション上げ)

(食え： ポートにアラカルト的な名前だけ
(食い) 毎味で魯にオタク特有の星口になる)

（長い氣味で息にオノノ付ける年日になる）
そ、そ、うなんです！ 召矢ってジャムみたいでかっこいいですか！？

私、RPGとか、なろう小説とかめっちゃ好きで、ファンタジー漫画とか自分でも描いたりして、異世界転生めっちゃ憧れてるっていうか、私自身がもう既にメシアが異世界転生した姿だと思ったりして…はっ！？

(我に返って赤面)

すすすすみません！！ 私つい喋りすぎちゃって！！！ ああ～～～//

③両耳、通常距離

(めっちゃ素で言い放つ)

…バカじゃないんですか？

(俺が犯罪者に見えるか！？と言われ、楽しく話した事もあり強く出れない)
う、そりや、お兄さんは悪い人じゃないと思うし…てゆーかいい人…だと思う…ケド
んもう！ わかりましたよ、そう言う事にしてあげます！

(訝し気に主人公の耳を覗く)

コホン、しかし貴兄…耳が侵されているなどと…一体何をそんなに…

右耳、超近距離囁き声

(耳垢の汚さに素で戦慄、耳糞と言いかけるも中二モードに切り替える)

んー？ ヒッ！ 汚ったな…！ 耳くs…これは！ 深淵(しんえん)のデブリ！！
はるか魔界の底の底、暗黒領域アビスより産まれ出(いで)し完全暗黒物質生命体…！
それが貴兄の聖洞(せいどう)…イヤーズケイブを浸食しつくしている…！
このままでは、貴兄が完全な暗黒面に堕ちてしまう！！

両耳、通常距離

貴兄！ 一刻も早く浄化を…！

(耳かきしてほしいと言われ、慌てる。ちょいちょい素言葉を言い直す)

へえっ！？ わ、わたs…我に耳かk…浄化して欲しい…だと！？ き、貴兄正気か！？
え、で、でもそんな…わたs…我は、耳かk…浄化など…した事が…うぬう…

(怖い？ と聞かれ反論するも、恥しい)

こ、このメシア、怖気づきはせん…しかしそ耳かk…浄化程度の事、自分でやればよいであろう！

(主人公のアホな説明。膝枕耳かきをもっともらしく中二語に変換している)

へ？ 選ばれし救世主による聖なる儀式でしか深淵(しんえん)のデブリは倒せない…？
ぎ、儀式って…？ …聖なる祭壇に…頭を乗せて…神の祝福を受けた神器(じんき)で…

(素で)

それって、要するに耳かきじゃ…へえッ！？ 私の膝枕が…儀式の祭壇！？

(テンパってゴニヨゴニヨ。その後意を決して)

ツいくら同胞と言えど…そ、そのような…恥辱的(ちじょくてき)な事…ゴニヨゴニヨ…
だが…救いを求める者に手を差し伸べる事こそ救世主の務め… ならばっ…！
いいだろう、聖洞イヤーズケイブ、その浄化の任…このメシア自らが果たそうではないか…！

(独り言。その後釘を刺すように宣言)

それに…今はその…貴兄と二人きりだしな//

その代わり誓え！ この事は、我ら二人だけの密約…秘匿(ひとつ)されし歴史とすると！

それと…へ、変な事は絶対にするな！！ い、いいな！？

④両耳、通常距離

(たくさんの中かき道具を見て一瞬素に戻る)

で、では、始めよう…神器(じんき)をここへ！

えっこ、こんなに色々…道具、いや、神器(じんき)が…へえ～…

さあ！ ももが帰還せぬ内に…わがフトモモ、聖膝(せいしつ)と言ったところか…

我が聖膝に頭(こうべ)を預けよ！

--- 【右耳かきパート】 ---

⑤右耳、通常距離

(くすぐったくて一瞬素に、貴兄から中二モード)

ひやつ// お兄s…貴兄、もっとゆっくり乗せてくれ、髪の毛がこそばゆい！
うむ…では改めて聖洞内の確認をするぞ、どれどれ…

右耳、超近距離囁き声

(のぞき込んでる)

ん～…う、改めて見てみると…とてつもない浸食具合だ…奥が全く見えんではないか…

右耳、通常距離

(ただの耳かき棒をそれっぽく言う。徘徊型=入り口付近の耳垢)

まずは、邪魔な入り口付近の耳くs…深淵(しんえん)のデブリ、徘徊型の浄化を始めるぞ…
この耳かき棒…いや、エデンの中心にそびえたつセフィロトの樹の枝より作られし、
この聖剣ミミカリバーの威力…とくとみせてやろう！

右耳、近距離

(入り口耳かき中)

ん…ん…くっ…くのっ…ど、どうだ貴兄？ 私の戦いぶりは…
気持ちいい？ な、何を呑気な事を…命がかかるつているというのに…

(褒められて驚き、その気になる)

！？ 流石はメシア…惚れ惚れする戦いぶり？ つか上手い…？
ほ、ほお～う// 貴兄、中々わかってるではないか♪
我が聖剣耳カリバーのひと搔きで…それ、それそれ…次々に浄化していくぞ♪

(擬音を言ってと言われ、技っぽく擬音耳かき)

ん？ どうした貴兄…？ 擬音掛け声？ 成程！
古の碑文(ひぶん)に記されし神々の言葉をもって、聖剣に擬音の力を宿し、威力を強化する…
神技(しんぎ)、ブースト・オノマトペ！

(大げさな呪文に対し普通の擬音耳かき、しかし手応えはバッタリ。擬音ゆっくり目)

…こちよ、こちよ…こちよこちよ…ど、どうだ貴兄？ おお、顔が安らいで…よし
…ん…こちよこちよこちよこちよ…こちよ、こちよ、こちよこちよ…こちよこちよこちよ…ん…

(ここでいう属性とは別の擬音の事)

单一属性の攻撃だけでは不利だな…ん…こしょこしょ、こしょこしょ…
ムム！ 貴兄の反応がいい…弱点属性を見破ったぞ…こしょ、こしょ…こしょこしょこしょ…
こしょ、こしょ、こしょ…こちよ、こちよ、こちよ、こちよ…

⑥右耳、通常距離

(入り口耳かき終わり)

…よし、上層の浄化は完了したぞ…いかに完全暗黒物質生命体といえど、
我が耳カリバーの前には灰燼(かいじん)に帰(き)すのみ…フハハハ

右耳、超近距離囁き声

(もう一度のぞき込んで。徘徊型=入り口付近の耳垢、浸食型=耳壁に張り付いた耳垢)

では中層を…ん？ う、さ、さっきとまるで違う個体が…！
徘徊型を片づけたと思ったら…壁に張りついたタイプが現れたぞ…浸食型か！

右耳、通常距離

(慎重な分析からの決意)

これは、然るべき手順を踏まなければ攻撃が無効化されてしまうな…
このままでは浸食型もろとも内壁(ないへき)を傷つけてしまう…
う、動くなよ貴兄…まずは…耳カリバーでの剥離(はくり)を試みる！

右耳、近距離

(耳垢剥がし、慎重そうに。擬音ゆっくり目)

ん…くっ、くぬっ…くのっ…端から…耳カリバーを引っかけて…んぬう…少しずつ…くい、くいっと
よ、よし…剥がれてきたぞ… このまま…ん…ベリベリベリ…
他も…引っかけて…く、く、くい～…ベリベリベリ～っと…
ふう…まだまだいるぞ…ん…

右耳、通常距離

(一息つき、主人公にピンセットを渡される)

いいぞ、この攻撃はやはり効果的だったな…しかし…完全な剥離は、耳カリバーといえど難しい…
…どうすれば…ん？ 貴兄、それは？ ピンセット？
確かに理にかなっているが…こんな下界の薬局で手に入るようなものが果たして…

(ピンセットにも設定がつく、ものものしく)

はっ！？ こ、このピンセットは…間違いない…
神々の武具を鍛える際に用いられるという伝説の金属、オリハルコン製だ！
さすがは貴兄、このような貴重な物を持っているとは…これならば…よし

右耳、近距離

(ピンセット耳垢引っ張り。安全とわかり楽しそうに。擬音ややゆっくり目)

ん…剥がした浸食型は、このピンセットで…それ、それ！
引っ張って…んん～…ふちふちっと
これなら、内壁を傷つけずに取り除くことが出来るな！
それ、ベリベリベリ～ふちっ♪
オリハルコンピンセットからは、絶対ににげられんぞ♪
ベリベリ～ふちっ♪ ペリリリ～～…ふちっ♪

⑦右耳、やや通常距離（通常距離と近距離の間）

（主人公の反応に一瞬驚く）

おおう、ビクッとしたぞ貴兄、そんなに気持ちよかったのか？
フツ、無理もない、あれほど浸食されていては、さぞ痒かっただろう。
さあ、残党狩りといこうか、フフフフフ♪
よし、浸食型の浄化…完了だ♪

右耳、初めは通常距離、聖洞の～あたりから超近距離囁き声

（耳奥にビビってる感じで。アビス型＝耳奥の耳垢）

む…い、いよいよ奥…聖洞の最下層…い、居た！ 深淵のデブリ、アビス型だ…！
暗黒領域アビスの邪惡なる思念そのもの…くっ

右耳、通常距離

（小声独り言、素モード、不安そうに）

うう…このダンジョン…セーブポイントが無い…だ、大丈夫かなあ…

（聞かれてて焦り、中二モードに戻り強がる）

よ、弱気になどなっておらぬ！ 心配は無用だ！
ここは、やはり耳カリバーで、我が全身全霊の耳かきを受けてみよ…！

右耳、近距離

（強気ながら慎重そうに）

い、入れるぞ…そ～っと…

右耳、通常距離

（反応に驚いて素に戻るが、大丈夫とわかりそ分けなく）

キヤッ！？ だ、大丈夫ですかお兄さつ…あ、気持ちいい…そう…

（中二モードに戻り、主人公の反応を耳垢の能力だと表現）

くっ、アビス型め、考えたな…！ 宿主の感度を高めて、浄化を妨害するつもりか！

右耳、近距離

（奥耳かき。慎重に）

貴兄、絶対に動くなよ…これは試練なのだ…

ん…ん…どうだ？ 貴兄… 痛くは、ないか？ 慎重に、慎重に…搔きほじって…浄化していくぞ…
ん…ん…くっ、届きそうで…届かな…ん？

（擬音を求められ、色々擬音を試す。擬音ゆっくり目）

ああ、そうか…神技（しんぎ）！ ブースト・オノマトペ！

…こり、こり…こりこり…くっ、効果が薄い…！ 流石はアビス型…それなら…
かり、かり…かりかり…んー…ほり、ほり…ん？ ほりほり、ほりほり…
ん…ほじほじ…っ！ ほじ、ほじ…ほーじ、ほじ…ほじほじほじほじ～☆
ククク、見つけたぞ…こいつの弱点属性は、ほじほじ、だ…よーし

⑧右耳、近距離

(慣れてきて楽しんでる。ちょっとゞッ気が始める)

ほじ、ほじ…ほじほじほじ…フッフッフッ…面白いように取れるぞ…

まるで聖洞が自ら内壁を動かしているようだ…それそれ…ほじほじほじほじ、ほじほじほじほじ♪

(奥耳かきクライマックス)

くっ、見えたぞ！ 深淵(しんえん)のデブリよ、我が聖劍耳カリバーの元に、
その忌まわしき怨念を解き放ち、滅せよ！

(耳垢が取れて快感、素モードで喜ぶ、気づいて中ニモード)

はあ~/// 取れたあ♡ スッゴーイ♡

はっ！？ こ、コホン…フッ、浄化完了…ん？ 細かいカスが…まだこんなに…

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふ～

(責め責めで。最後耳ふ～を遮られる)

まとめて吹き飛ばしてくれるッ！ 神技(しんぎ)！ 神の息吹…ゴッド・ブレス！

はー…ふう～～～♡(5秒) フフフ♡ ビクッとしたぞ♡

我が息吹で聖洞が清められていくのがわかるだろう？ そら…はー…

(遠慮する主人公を遮り追加の耳ふ～)

何だ、遠慮することはない、我らは既に同胞(はらから)なのだ、そら、もう一度してやろう…

はー…ふう～～～～♡(7秒)

はー…ふう～～♡(3秒) はー…ふう～～♡(3秒) はー…ふう～～♡(3秒)

ふつ♡ ふつ♡ ふつ♡(3秒)

(のぞき込んで、眉をひそめて言う)

むーん…よくよく見てみれば…まだまだ穢れが残っているな…

右耳、通常距離

！ そうだ！ ここは新たな神器(じんき)を…これだ！

天界の衣纏いし(ころもまといし)純白の綿棒…ホーリータクト！

これでこすり取って…ん？

(綿棒の前に耳ブラシをさせたい主人公にそれらしいことを言われる。やや素モード)

光属性の攻撃ばかりでは耐性がつくから、闇属性で中和させてから？

闇の神器(じんき)…耳ブラシ？

(中ニモードで、耳ブラシに驚嘆する)

う！ これが…闇の神器、耳ブラシ…ミミボルグ！ …なんという禍々しい(まがまがしい)形状…
な、成程、わかったぞ、このミミボルグで内壁に残った穢れ(けがれ)を搔き上げて、
あぶり出そうというんだな？

(ゴクリ…と腹を決める感じで)

そうと分かれば…よし…闇の神器(じんき)の威力…見せてもらおうか…

入れるぞ…

⑨右耳、超近距離

(小声でぼそっと)

ブースト・オノマトペ♡

右耳、近距離

(闇の神器を使う事で自身が闇落ちしかけているという示唆で語氣、Sつ気が強くなる)
(メスガキみ=闇属性なので煽り始める。擬音ゆつくり)

ぞぞぞぞぞ～～～…ハハっ♪

どうした貴兄？ そんなにビクビクと震えて、気持ちいいのか？

闇の力は一度飲まれるとその快樂に溺れ、二度とは抜け出せなくなるというが…

貴兄…ただ入れただけでこの反応…少々精神のパラメーターが低いのではないか？

闇の力で中和させろと言ったのは貴兄だろう？

少しは我慢したらどうだ？ そら、動かして…聖洞の内壁を搔き上げていくぞ…

ぞり、ぞり、ぞり、ぞり…ぞーろ、ぞーろ…フフ、くるくると回して、

隠れている穢れを浮き出させていくぞ…それそれ♪

(責めの快感がわかり始める。擬音ややゆつくり目)

ククク…貴兄の反応、何やら言い知れぬ感覚が湧き上がってくるぞ…ククク

この程度の刺激に耐えられずに、ビクビクと！ 貴兄、実はかなり貧弱だな？

それぞれ、出し入れして…聖洞内をくまなく蹂躪していくぞ…

それ、入れて～じゅぶぶぶぶぶぶ～ そら、引き抜くぞ…ぞぼぼぼぼぼ～…クク♡

くるくると回転させて、中に隠れている穢れをかき出していくぞ…

じより、じより、じより、じより♡ ぞろぞろぞろぞろ、ぞろぞろぞろぞろ♡

(擬音速目)

クククつ、速くしてやるぞ…神技、クイックチャージ！

そらそらそらそら、ぞりぞりぞりぞりぞりぞりぞり♡

ククク…じゅこじゅこじゅこじゅこ♡ じゅこじゅこじゅこじゅこ♡

じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ♡ じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ♡ じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ♡

クククッ♪ いー反応だぞ貴兄、そらどうした、もっと氣骨を見せてみろ、

それでも不可侵領域者ももの実兄か？

救世主とはいえ、妹の友人に聖洞を侵されて身もだえするなど…フン、雑魚か♪

右耳、通常距離

(我に帰った風に元の中二モードに戻り、耳ブラシを恐ろしがる)

はっ！？ わ、我は…今何を…？ 今、我は貴兄の聖洞を侵すなどと…

くっ、この耳ブラシ、ミミボルグか…これが闇の神器の力…

我ともあろうものが取り込まれかけるとは…貴兄、大丈夫か？ 隨分乱暴にしてしまった…

右耳、超近距離囁き声

(のぞき込んで)

んー…お、おお……穢れ(けがれ)がしっかりと浮き出ている…

流石は闇の神器、危険だが威力は確かな様だ…

⑩右耳、通常距離

(綿棒に移ろうとするも、耳用ローションを見せられ、新たな設定が生まれる)

さて…綿棒、ホーリータクトの出番だな、ミミボルグで搔き浮かせた穢れをこすりとつ…ん?

貴兄…これは…耳用…ローション…おお！ これはまさしく世界樹の雫！

これがあれば内壁のダメージを回復させつつ、穢れを湿らせる事が出来るな！

よし、では早速…ホーリータクトに…雫の水属性を付与して…ぴちゃぴちゃ♡

右耳、近距離

(濡れ綿棒。主人公がローションの冷たさに反応、しかし冷静にSつ気)

入れるぞ？ あっ！ 冷たかったか？ フフフ、我慢しろ…

ちゅぴちゅぴ…すりすりすり…ぬりぬり…しっかりと…塗りつけて…よし、こんなものか

右耳、超近距離囁き声、内吸気と耳ふ～

(小声でぼそっと)

…ゴッド・ブレス

は…ふう～～～♡(5秒) クククッ、濡らした聖洞に効果はばつぐんだな♪

は…ふう～～～♡(7秒)

右耳、通常距離

では、ホーリータクトで、こすりとつていくぞ…

右耳、近距離

(綿棒。慣れて得意げになっている。擬音ゆつくり目)

フン、気持ちいいか？ ホーリータクトは柔らかな素材で出来ているから、

味方へのダメージは発生しない…故に、しっかりと奥までこすりつける事が出来るのだ…

だがまずは、入り口付近だ…貴兄の弱点、奥はまだおあずけだ♪

こし、こし…こしこし…おお、水属性攻撃で弱体化させたから、穢れがごっそりと絡みついて…

ン…こし、こし…こしこし、こーし、こし…

すり、すり…すり、すり…すーり、すーり…うむ、綺麗になってきたぞ♪

次は奥に刺し込んで行くぞ、隠れた穢れも、全てこすり取ってしまおう…

(綿棒耳奥へ。慎重かつ大胆に。そして煽る)

ん…動くなよ？ すすす～っと、ハハっ♪ 奥に入れただけで、ビクビクとしたぞ♪

貴兄、耳カリバーの時もそうだったが…ひょっとして奥が弱いのか？

フ、歳の割に、案外軟弱なのだな♪

こすつていくぞ？

ごーし、ごーし…ごーし、ごーし…ごし、ごし、ごし、ごし…フフ、タクトを回転させて…

くるくるくるくる…くーりくり、くーりくり♡ くりくりくりくり…ぐーりぐり♡

(主人公に速くやってと言われ不思議がる。クイックチャージ=速くする神技)

ん？どうした貴兄？ え？ もっと速く？ クイックチャージか？

それは構わんが…奥は弱いのだろう？ いいのか？

そ、そうか…変わっているな…自ら弱点攻撃を要求するなど…

⑫右耳、通常距離

(やや呆れた様子で)

おいおい貴兄、いつまでビクンビクンしているんだ？

(ちょっと驚いた感じで、主人公の表情に疑いの感情)

う、なんだそのだらけきった顔は…？

こっちが決死の思いで挑んでいたというのに、この間抜け面は…これではまるで只の人間…

(聖洞、魔物の幻覚を主人公に見せられていたという設定が生まれる)

(実際に驚愕する演技)

はっ！？ な、なんだこれは…よく見れば…ただの耳穴ではないか！？

貴兄、さては擬態の神技(ぎたいのしんぎ)の使い手だったのか！？

は、謀ったな！？ 聖洞の浄化などと大それたことを言って…

ただ妹の同級生に耳かきさせたいが為に我を利用したな！？ こ、この変態め！！

(主人公も乗って悪者の演技をする。それを聞いてくやしそうな演技)

そっちが勝手に勘違いしただけ…？ この愚か者め…だとお～～！？

うう～裏切り者めえ～！！！

(主人公の裏切りに絶望して闇落ちする演出)

おのれ～おのれおのれおのれ…許すまじ許すまじ許すまじ～～～

ぐっ…衝動が…怒りと絶望が…我の体を蝕んでゆく…！！

くっ！静まれっ我が右腕え～…！ うわあっ！！

(闇落ちして闇属性メシアになる。喋り方も少し変えてください)

…我が名はメシア…しかしあつてのメシアはもはやいない…

我は邪なる裏切りによって怒りと絶望の混沌に墮ちし邪神…

復讐するぞ！ 耳かき欲に溺れし愚かな人間よ！

我が耳掃除をもって地獄に墮ち…永遠の後悔の闇を彷徨うがいい！

さあ、こちらを向け…逃がしはせんぞ！

--- 【左耳かきパート】 ---

⑬左耳、通常距離

(髪の毛がくすぐったいが、我慢して闇メシアに徹してる)

……貴様…髪の毛が鬱陶しいぞ…わざとらしく擦りつけおって…

クックックッ…いい度胸だ…我への敵意の現れと見ても良いのだな？

フン…神を欺きし愚かなヒトの子よ、その脆弱な耳穴でどこまで抗えるか見せてもらおうか…

左耳、近距離

(耳かき棒を見ながら設定を語る。途中で何かに気づく)

聖剣耳カリバーはもはや我が闇の力に染まり、魔剣イヤースレイブへと変貌した…！

まずは耳穴の上層を蹂躪して…ん？

左耳、通常距離

(主人公の鼻息に反応、匂いを嗅がれただけがすかさず設定を盛り込む)

んあっ// ぐっ、き、貴様…我の腹部に鼻息が…んっ//

これは、ゴッド・ブレス！！ 人間の貴様に使える筈が…はっ！？ そ、そうか、我の腹部の匂いを嗅ぐことで、一時的に神の力を…あっ// や、やめよ！ …ふう//

(ちょい焦って額に汗)

くっ…油断したわ…こやつ、やはり只の人間ではないな…だがつ

小手先の神技でいくら抵抗したところで、神には絶対に勝てぬという事実をわからせてやろう！
我がイヤースレイブの灼熱の一振りで…貴様の醜い欲望を焼き尽くしてくれようぞ！

左耳、近距離

(入り口耳かき。得意げだが煽られて内心キレてる。擬音ゆっくり目)

ん…んしょ…ん…どうした？ びくびくと震えているぞ？

何？ 神の力はその程度か？ …だと？

……虚勢だけは一人前だな…ならば見せてやろう、真なる神の力を…！

裏神技(うらしんぎ)！ ブースト・オノマトペ・滅(めつ)！

こしょこしょ…こしょこしょ…こしょこしょこしょ…

(冷静な突っ込みにキレる器が小さいラスボス風反応。人を、を神をに言い直す)

何？ さっきと変わってないと？

全く人を…あいや、神をイラつかせるのが上手い奴だ…ピクピク

(滅の効果としてちょっと擬音を速くする。煽られて言い返すも主人公の反応にご機嫌)

こちよこちよこちよこちよ、こちよこちよこちよこちよ…ククク…見たか人間め！

これが、滅の力だ…え？ さっきも速くした？ 違うのかって？

う、うるさい！ 細かい事をいちいちと…それそれそれ

クハハッどうだ！ 口ではいかに虚勢を張ろうとも、体は正直ではないか！

耐えられるものなら耐えて見せるがいい…そらそら

こしょこしょこしょこしょ、こちよこちよこちよこちよ♡

こしょこしょこしょこしょ、こちよこちよこちよこちよ♡

⑯左耳、近距離

(楽しくなってきたが、一旦ブレーキをかけて)

お~っと、やり過ぎてはいかんな…オモチャは大事に扱わねば…ゆっくり優しく、緩急をつけて…

左耳、超近距離囁き声、内耳ふ～

(この耳ふーは耳垢が邪魔で奥まで息が届かない演出の為、わざとずらしてください)

…ふう～～～♡(7秒)

フン、ゴッド・ブレスが通らぬとは、中々に強固な守りだ…だが、いつまで持つかな？

ん～？全く…薄汚い耳穴だな…持ち主の邪悪さがわかるというものだ…

ククク、居るぞ居るぞ、中層の耳壁にべったりと張り付いた耳垢が…

イヤースレイブで剥がし取ってやろう、いくぞ…

左耳、近距離

(耳垢剥がし。煽りが板についてくる。楽しそうに)

ん…ン…耳垢の、端に、引っかけて…よつ…んっ、く、く…くいっと…ン…

よし、浮かせて…ベリベリベリ…ベリリリ…何だこの耳垢は？

貴様の虚勢のように薄っぺらじゃないか、クハハツ

そら、まだまだ残っているぞ…ベリベリしてやろう♪ それ…

左耳、通常距離

剥がして無防備になった耳垢をこのダークマターピンセットで根こそぎ引きずり出してやろう♪
神聖なオリハルコンも、我の手の中では暗黒物質となる…

左耳、近距離

(ピンセット。慎重そうに)

ん…掴みとつ…引きずり…ベリリリ…ぶちつ

まだまだあるぞ…貴様の軟弱な耳奥をあらわにしてくれるっ！

左耳、通常距離

これで残りは最下層の耳奥を残すのみ…貴様の守りもあと一つと言った所か…

おい、ビクビクと動いて我の邪魔をするでないぞ？

左耳、近距離

(独り言、耳かき棒に語りかける。擬音はゆっくり目)

魔剣イヤースレイブよ、我が命に従い、神を欺きし愚かな人間の耳奥を断罪せよ！

…ん…あ…んしょ…んっ…ほじ、ほおじ…ん…

(小声で技名。擬音はゆっくり目)

ブースト・オノマトペ！

ほじ、ほじ…ほじほじほじ…こり、こり…こりこり…ほーじ、ほーじ…

⑯左耳、近距離

(擬音ゆっくり目)

そ～ら…入れるぞ～…ぞりりりりりり～～～♡
ククク…そらそら、ぞり、ぞり、ぞりぞりぞりぞり♡
回して…じよろ、じよろ、ぞろぞろ、ぞろぞろ…
抜いて…ぞばばばば…入れて…じゅぶぶぶぶ…抜き差し、抜き差し…それ、それ、それ♡
トロンとして、心地よさそうだな人間よ…これを受けてもそんな顔でいられるかな?
クイック・チャージ・滅!

(高速耳ラシで主人公が悶えてるのがわかつていてわざと眠らないのか?と意地悪)

(擬音速目)

どうした? 眠らんのか? ん? ああ、そうか、もっとして欲しいのだな?
よしよし、望み通り、弱い部分を執拗に責めてやろう♡
じゅこじゅこじゅこじゅこ、じゅこじゅこじゅこじゅこ♡
じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ、じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ♡

左耳、超近距離囁き声、■内耳ふ～

ふつ♡(1秒) ククク、雑魚が…

左耳、通常距離

(主人公が黒綿棒を差し出して、若干素で引く)

さて、次は綿棒、ホーリータクトだが…ん? 貴様、何だこれは…黒綿棒…?
おお、これぞわが闇の力にふさわしい神器(じんき)、ダークワンド!
み、自ら敵に神器(じんき)を提供するなど…そこまでして徹底的に耳穴を責められたいのか?
といえば、先程も自ら弱点への攻撃を要求していたな…貴様…本当に只の変態だな…

(一瞬素で手順確認、このダークワンドに～あたりから戻る)

えーと、まずは耳用ローション…このダークワンドに…水属性を付与して…ぴちゃぴちゃ♡
ミミボルグで搔き浮かせた耳垢を水属性やられにしていくぞ♪

左耳、近距離、■内吸気と耳ふ～

(擬音ゆっくり目)

ぬり、ぬり…ちゅぴ、ちゅぴ…耳穴の隅々に…たっぷりと、雫をしみこませていくぞ…
ん…んしょ…ん…

…はー…ふう～～～♡(5秒) はー…ふう～～～♡(5秒) ふつ♡(1秒)

左耳、近距離

さあ、耳壁にふやけて浮かび上がった貴様の欲望の塊を、ごつそりと絡め取ってやろう…
まずは、上層からだ…ん…こし、こし…こすりと…
ほら見ろ、ダークワンドは黒いから、貴様の薄汚い耳垢が、はっきりと見えるぞ!
貴様の様な邪な欲望にまみれた人間にふさわしい醜陋さじゃないか、クハハハハツ

⑯左耳、近距離、内吸気と耳ふ～
(梵天。擬音ゆっくり目)

つつー…つと
中に、入れて…くるくると…まんべんなく、耳壁をなでまわして…くる、くる…
出し入れも…ゆっくりと…しゅっぽ、しゅっぽ…しゅっぽ、しゅっぽ…
はー…ふう～～～♡(7秒)

左耳、通常距離、内キス音
(素モードに戻る)

はあー、楽しかった～…………あ、あのう…お兄さん？
えっと…その…お、終わりましたケド…起きて…くれませんか？ あ…すっごい寝てる…

(中二モードで最後の締め)

ククク、命拾いしたな、その安らかな寝顔に免じて、命までは取らないでおいてやろう…
貴様は、変態で脆弱で貧弱な人間だが、なかなか見所がある…
我の暇つぶしに、またしてやっても…いいぞ？
無論、他言無用でな…チュツ♡(1秒)

--- 【その他】 -----

⑯右耳、近距離

(耳かき中の無言部分に挿入する息遣い、右耳のみでOK。約2分)

(すー、はーと繰り返す。声には出さないが音は聞こえる様に寝息の様な要領)

(※再録前よりももう少し声を大きくしてください)

すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…
すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…
すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…
すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…すー、はー…

両耳、通常距離

(Youtube用タイトルコール、光メシアで)

サークルでぶり…

(Youtube用エンディング、最初素は、コホンの後は闇メシアで)

えっ、あっ、お疲れ様でした/// …コホン

我が名はメシア…耳穴を蹂躪せし者…

愚かな人間よ、我に服従し…チャンネル登録をするがよい…！